

1. 件名：「島根原子力発電所2号炉の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(157)」

2. 日時：令和3年4月15日（木）15時25分～17時45分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、海田主任安全審査官、谷主任安全審査官、菅谷技術研究調査官、磯田係員、松末技術参与

中国電力株式会社：山田常務執行役員 他12名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 島根原子力発電所2号炉 新規制基準適合性に係る審査を踏まえた検討・反映事項について
- ・ 島根原子力発電所 地盤（敷地周辺陸域の地質・地質構造）
- ・ 島根原子力発電所 地盤（敷地周辺陸域の地質・地質構造）（補足説明）
- ・ 島根原子力発電所 地盤（敷地周辺海域の地質・地質構造）
- ・ 島根原子力発電所 基準地震動の策定について
- ・ 島根原子力発電所 基準地震動の策定について（補足説明資料）
- ・ 島根原子力発電所 地震について（参考資料）
- ・ 島根原子力発電所 火山影響評価について
- ・ 島根原子力発電所 火山影響評価について（補足説明）
- ・ 島根原子力発電所 火山影響評価について（参考資料）

<<本年4月12日に受取済み>>

- ・ 島根原子力発電所2号炉 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価
- ・ 島根原子力発電所2号炉 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価（補足説明）

| 時間 | 自動文字起こし結果 |
|---------|---------------------------------------------------------------------------|
| 0:00:02 | 規制庁熊谷です。 |
| 0:00:05 | また島根原子力発電所 2 号炉についてのヒアリングをこれから始めていきたいと思います。それではよろしく願いいたします。 |
| 0:00:16 | 中国電力のフジムラです。 |
| 0:00:18 | 本日の資料の確認をさせていただきます。 |
| 0:00:21 | まず全体概要に関する資料といたしまして、EP082 回 05 の資料が一部となります。 |
| 0:00:30 | 次に、陸域に関する資料ですが、右肩No.EPE070 のシリーズとなっており、対 05 の本編資料パツ候補会 04 の補足説明資料となります。 |
| 0:00:41 | 次に会議に関する資料ですが、右肩No.EP072 のシリーズになっており、下位 04 の本編資料となります。 |
| 0:00:51 | 次に、基礎地盤及び周辺斜面に関する資料ですが、 |
| 0:00:54 | 右肩No.EP081 の手術なっており、 |
| 0:00:58 | I06 の本編資料括弧 5 の 1 回 04 の補足説明資料となります。 |
| 0:01:05 | 次に、地震動に関する資料ですが、BEA071 のシリーズになっており、対 04 の本編資料、 |
| 0:01:13 | 括弧ほぼ会 04 の補足説明資料、 |
| 0:01:16 | Pd076 回 01 の参考資料となります。 |
| 0:01:21 | 次に火山に関する資料ですが、 |
| 0:01:24 | 右肩No.EP079 の私立なっており、下位 04 の本編資料、 |
| 0:01:29 | 括弧法解 04 の補足説明資料となります。 |
| 0:01:32 | 以上の 11 分です。 |
| 0:01:34 | 不足がないか確認をお願いします。 |
| 0:01:41 | 長官のカシマです。失礼いたしました。 |
| 0:01:45 | 三つもう一部、提出をしております、火山の資料でございます。Pd080 の参考資料となります。以上の 12 分です不足がないかを確認をお願いします。 |
| 0:01:59 | 成長クマガエです。はい、資料 12 分そろっております。よろしく願いいたします。 |
| 0:02:07 | 中国電力の藤間です。 |
| 0:02:09 | それでは、II 地盤及び周辺斜面の安定性評価に関わるまとめ資料の御説明を行います。 |
| 0:02:14 | まず、Pd082 会議 05 の全体資料全体概要の資料について御説明いたします。 |
| 0:02:21 | 全体概要資料の 2 ページ目をお願いします。 |

| | |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 0:02:28 | 2 ページ目の一番下の行に、基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価についての概要を示しております。 |
| 0:02:36 | 一つ目のポツでは、基礎地盤のグループ分けについて記載しておりますが、グループ分けを見直した結果、最終的に 5 行目の四つの施設を代表施設に選定した旨がわかるように記載を修正しております。 |
| 0:02:49 | また、上から三つ目のポツでは、基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価におきまして、液状化影響を考慮した旨を追記しております。 |
| 0:02:58 | また、液状化を考慮した滑り安全率の算定方法に関しまして、 |
| 0:03:02 | 全応力解析と有効応力解析との比較により、妥当であることを確認した旨を追記しております。 |
| 0:03:09 | 下から 2 番目のポツでは、 |
| 0:03:11 | 約T応益の形成について記載しておりますが、 |
| 0:03:14 | 設置許可段階における基本設計方針が明確になりを記載を修正しております。 |
| 0:03:20 | 具体的な内容につきましては後程本編資料を用いてご説明いたします。 |
| 0:03:24 | 最後に、一番下のポツでは貿易端部斜面の安定性評価について記載しておりますが、もともとは二つに分かれていた文書の一つにまとめることで、最終的に列記する及び永年制度岩盤まで撤去した断面で安定性評価を行った旨がわかりやすくなりを伝えを修正しております。 |
| 0:03:43 | 全体概要に関する御説明は以上となります。 |
| 0:03:46 | 続きまして、EP081 回 06 の本編資料をもちまして、主な修正内容に絞って御説明いたします。 |
| 0:03:55 | 本編資料の 1 ページ目をお願いします。 |
| 0:04:05 | 本編資料の 1 ページ目では基礎地盤の安定性評価の概要をお示しておりますが、右側の※3 の注釈を追加しております。 |
| 0:04:14 | ※3 の注釈におきまして常設耐震重要重大事故防止設備以外の常設重大事故防止設備が設置される重大事故等対処施設はすべて※2 の常設重大事故等対処施設を兼ねており、図の評価対象施設以外に存在しない旨を追記しております。 |
| 0:04:32 | また、※4 の注釈におきまして、 |
| 0:04:35 | 敷地における標高ELは |
| 0:04:37 | 東京湾平均潮位のTPP0mを基準としているため、TPP=ELとなることから、本資料ではTPP表記を用いる旨を追記しております。 |
| 0:04:48 | 2 ページ目をお願いします。 |

| | |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 0:04:55 | 2 ページでは、防波壁逆T駅の傾斜につきまして、設置許可段階における基本設計方針が明確になりを記載を修正しております。 |
| 0:05:04 | 上から三つ目のポツにその内容を記載しておりますが、防波壁逆Tを併記は評価基準値の目安を上回るもの、PS検層等に基づく |
| 0:05:14 | 改良地盤の物性長用いて評価することにより、基礎底面の傾斜を考慮しても構造成立性が確保される見通しがあることから、改良地盤が施設の安全機能を損なうおそれがない地盤であると判断しました。 |
| 0:05:28 | 設置許可段階における基本設計方針として、改良地盤の物性値を管理目標値の位置付け、詳細設計段階におきまして、室内試験等により、 |
| 0:05:38 | 管理目標値としての物理特性、 |
| 0:05:41 | 強度特性及び変形特性が確保されていることを確認するとともに、 |
| 0:05:46 | グラウンドアンカーによる変形抑制効果を踏まえた設計を実施します。 |
| 0:05:51 | このページも同様に修正しております。 |
| 0:05:54 | また、2 ページ目の表のうち、地震時最大接地圧につきましては、前回ヒアリングでは、私の順番が逆になっておりましたので、記載を修正しております。 |
| 0:06:05 | 29 ページをお願いします。 |
| 0:06:18 | 29 ページでは、基礎地盤の安定性評価におけるフローを示しております。 |
| 0:06:23 | こちらではフローの上から二つ目の四角におきまして代表施設の選定の際に検討断面を選定していることがわかるように、赤字で記載を修正しております。 |
| 0:06:34 | 35 ページをお願いします。 |
| 0:06:44 | 35 ページでは代表施設の選定に際しましては、2 号炉原子炉建物等の比較結果を示しております。 |
| 0:06:51 | こちらでは上の箱書きの一つ目のポツにおきまして検討断面設定の考え方を記載しておりますが、2 号炉原子炉建物及びその周辺施設につきましては、 |
| 0:07:01 | 施設重量が有意に大きい 2 号炉原子炉建物の通り、 |
| 0:07:05 | シームの最急勾配方向であり、 |
| 0:07:08 | 滑り安定性が厳しくなると考えられる南北方向方向のA断面を検討断面に設定します。 |
| 0:07:15 | また、直交方向のBB断面の設定の考え方を 36 ページに記載しております。 |
| 0:07:20 | 36 ページをお願いします。 |
| 0:07:25 | 36 ページの箱書きの一つ目のポツにD断面の設定方法を記載しておりますが、2 号炉原子炉建物及びその周辺施設の東西方向のシームの分布や地質状況が一様であることを確認するため、A断面と直交するBB断面を検討断面に設定いたします。 |

| | |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 0:07:44 | 段目につきましてもそれぞれ同様に検討断面の考え方を記載しております。 |
| 0:07:50 | 222 ページをお願いします。 |
| 0:08:04 | 222 ページでは、周辺斜面の安定性評価におけます耐震重要施設等に影響する恐れのある斜面の抽出に関しまして、どの斜面がどの施設に影響するかが明確となるように、右側の表に各施設に影響する恐れのある斜面を一覧でお示しております。 |
| 0:08:22 | 229 ページをお願いします。 |
| 0:08:32 | 229 ページでは、 |
| 0:08:34 | 周辺斜面の安定性評価に関しましてグループAにおける評価対象斜面の選定についてお示しております。 |
| 0:08:42 | 箱書きの三つ目のポツにおきまして、記載を修正しておりますが、 |
| 0:08:46 | 33 段目につきましては、歴史出動粘性度の撤去を反映した安定性評価を実施し、十分な安定性を有していることを確認しており、 |
| 0:08:55 | その内容を補足説明資料の順書に記載しておりますことから、その旨を追記しております。 |
| 0:09:01 | また、②断面の |
| 0:09:03 | 設定方法、二つ目のポツに記載しておりますが、斜面高さが最も高くなり、最急勾配方向となる滑り方向に②断面を設定しております。 |
| 0:09:13 | だめにつけましても、以降のページで同様に検討断面の設定方法を追記しております。 |
| 0:09:20 | 続きまして、EP081 発行補-1 回 04 の補足説明資料を用いてご説明させていただきます。 |
| 0:09:29 | 補足説明資料の 91 ページをお願いします。 |
| 0:09:41 | 補足説明資料の 91 ページでは 2 号炉原子炉建物のモデル化の流れについてお示しております。 |
| 0:09:48 | 前回の資料では 2 号炉原子炉建物の隣接施設のモデル化方法につきまして記載が不足しておりましたので、箱書きの一番下の※書きにおきまして、2 号炉原子炉建物の隣接施設であります 2 号炉タービン建物、 |
| 0:10:03 | 12 号炉廃棄物処理建物、 |
| 0:10:05 | 及び 1 号炉原子炉建物につきましても、2 号炉原子炉建物と同様の方法によりモデル化していることを追記しております。 |
| 0:10:13 | 御説明は以上となります。 |
| 0:10:22 | 規制庁クマガエです。はい。ご説明ありがとうございました。 |
| 0:10:31 | 規制庁のマツスエです。御説明ありがとうございました。 |
| 0:10:35 | なんて、ちょっと何点か確認させていただきたいんですが、222 ページ |

| | |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 0:10:47 | 前回お願いした斜面とをそれぞれの |
| 0:10:54 | 耐震重要施設名重大事項、 |
| 0:10:57 | 施設の対応関係がわかるように書いていただいております。 |
| 0:11:03 | これよくわかったんですが、1点だけちょっと |
| 0:11:10 | 防波堤の |
| 0:11:12 | 周辺斜面というところ。 |
| 0:11:16 | 図面のほうの |
| 0:11:18 | 左上と右上のほうに、 |
| 0:11:22 | 3号炉北西防波堤周辺斜面と今回右側のほうは12号炉北東防波堤。 |
| 0:11:29 | 防波壁周辺斜面という |
| 0:11:31 | 名称になって表もそのように書いてあるんです。 |
| 0:11:35 | ですが、 |
| 0:11:36 | 後段のほうのですね。 |
| 0:11:40 | どこがいいのかな。 |
| 0:11:45 | 例えば、 |
| 0:11:49 | 231ページですとか、 |
| 0:11:53 | 斜面の名称が違うので、この辺統一的に通過今回 |
| 0:12:00 | 222ページだけ斜面の名称が変えられた理由。 |
| 0:12:04 | はということでしょうか。 |
| 0:12:07 | お願いします。 |
| 0:12:12 | 中国電力のフジムラです。 |
| 0:12:14 | 222ページの斜面の名称が異なっていたという形なんですけれども、 |
| 0:12:21 | こちらは、 |
| 0:12:25 | 231ページ等の斜面の名称と記載が異なっていたというのが事実でございますので、ほかのページの名称と合うように修正させていただきます。制定いたしました。 |
| 0:12:36 | よろしくお願いいたします。 |
| 0:12:38 | 同じくその斜面なんですけれども、今度途中どこがいいのか、229ページ。 |
| 0:12:46 | グループ、 |
| 0:12:48 | 緑で塗った4社目5斜面ですか。 |
| 0:12:52 | 選定されて比較して代表を決められてるわけなんですけれども、 |
| 0:12:57 | この中で、今度、めくっていただいて231ページ。 |
| 0:13:05 | では134号の比較、簡易的な比較 |
| 0:13:11 | 最終的には1断面を選定したという流れになってます。 |
| 0:13:17 | ただ、241ページ。 |

| | |
|---------|--------------------------------------------------|
| 0:13:24 | まで進んで、最終的な評価対象斜面の選定になるとまた 2-2 が、 |
| 0:13:32 | 出てくるんですけどもこの 2-2 がどうしてこう。 |
| 0:13:36 | 最終対象斜面になったかという理由が、 |
| 0:13:41 | あまり明確に書かれてないように思いますんで。 |
| 0:13:44 | 229 ページに戻っていただいて、 |
| 0:13:49 | ここで一応 |
| 0:13:52 | 上の箱書き 3 ぽつあるうちの真ん中の 2 ポツ目に、 |
| 0:13:58 | 2-2 号、2-2 の断面については、 |
| 0:14:03 | 頂部の切り取りを行って切り取り後の斜面で安定性評価を行うこととしたと。 |
| 0:14:12 | だけ書いてあって、それだけの理由で |
| 0:14:15 | 231 ページの比較検討から外して 241 ページを最終評価の |
| 0:14:21 | 選定に飛んでいると。 |
| 0:14:24 | で、 |
| 0:14:25 | もう一つ、229 ページで、3 ポツ目の 33 断面については、先ほど説明もありましたけれども、 |
| 0:14:35 | 表層の歴史都度粘性度を撤去して、 |
| 0:14:41 | 撤去した切り取りを反映した安定評価を行うと。 |
| 0:14:47 | いうことで、 |
| 0:14:49 | 231 ページでは 1 時断面とか 4 断面と同じような比較検討して選定から落とし |
| | ていると。 |
| 0:14:59 | 同じように切取 |
| 0:15:03 | いや、撤去を行った。 |
| 0:15:07 | ことを理由にしてかたっぽは |
| 0:15:12 | 比較検討の対象としていくかたっぽは秘匿検討の対象とせずに代表に選んで |
| | ると、その辺の |
| 0:15:20 | 理由っていうか、 |
| 0:15:23 | 論理っていうかがよくこの資料から読み取れないんですけどもその辺ご説 |
| | 明いただけますか。以上です。 |
| 0:15:35 | はい、中国電力のユリでございます。229 ページ記載の a と 2 段目と 3 段目の |
| | 取り扱いなんですけども。 |
| 0:15:44 | まず 33 断面防波壁西端部の斜面でございますけども、こちら以前から切り取 |
| | り前のものとしてグループの中で比較をしてしていたような斜面になっておりま |
| | す。 |
| 0:15:58 | そのあと審査の過程で表層 2m ぐらいですけども切り取りを行いました、 |

| | |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 0:16:04 | こちら 231 ページのほうに教員の比較の表を記載しておりますけども、こちらの影響要因については、 |
| 0:16:12 | 表層 2mの切り取りですのでほぼ変わりがないような状態になってます。 |
| 0:16:17 | なので切取前と同様をグループへの中に入れて比較検討を行っている次第でございます。 |
| 0:16:25 | 33aと 2 段目、2 号炉西側切取斜面につきましては、対策こうやってるんですけども、こちらは頂部を申すかなり大規模にわたって切り取っているっていうといったこともございますので、影響要因の諸元が大きく変わっております。 |
| 0:16:42 | なので、こういった切り取りの影響を確認する意味で、ちょっとこちらに評価対象斜面に選定したって思う記載できてないんですけども、評価対象斜面に選定しまして、動的解析によりその効果を確認すると。 |
| 0:16:56 | いったことで、2 段目と 33 断面取り扱いが分かれている次第でございます。 |
| 0:17:02 | 以上です。 |
| 0:17:05 | 一応御説明はいただいたんですけども、やはり社長今の御説明にもありましたように 22 断面が、 |
| 0:17:16 | 対象斜面の選定になった理由というかそういうことをどこかに記載していただくようにお願いします。 |
| 0:17:25 | 以上です。 |
| 0:17:28 | 中国電力のユリです。承知いたしました。 |
| 0:17:37 | 規制庁クマガエです。 |
| 0:17:40 | 同じところの話、今の話なんですけども。 |
| 0:17:43 | 229 ページの 33 断面については、 |
| 0:17:49 | がまで撤去してさらに安定性評価を実施し、十分な安定性を有していることを確認済みであるっていうふうにも、 |
| 0:17:57 | 確認をしてるにもかかわらず、 |
| 0:18:01 | 33 段目については、 |
| 0:18:03 | 231 ページでは、 |
| 0:18:06 | 企画、 |
| 0:18:09 | 選定結果の代表性を選定の上に乗っけて、 |
| 0:18:15 | 考えてらっしゃって、 |
| 0:18:18 | これがよくわからない。2 段目は |
| 0:18:21 | 切り取っっちゃうから設定しますと、三番目についてはもう |
| 0:18:28 | 評価して、 |
| 0:18:29 | 安定性も確認してるんですよ。 |
| 0:18:32 | にもかかわらず、ここで、 |

| | |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 0:18:35 | 並べて比べてるっていうのはどうしてそういうことをされてるんでしょう。 |
| 0:18:48 | 中国電力のカシマです。こちらは先ほどおっしゃられたように全停に入れている理由はですね、他の断面と比べて安定性は確認はしておりますけれども、こちらのグループの中で、代表断面になるかならないかというところを改めて |
| 0:19:04 | チェックをかけたという意味でですね、記載の方さしていただいております。 |
| 0:19:08 | 以上です。 |
| 0:19:24 | 規制庁クマガエです。 |
| 0:19:26 | 確認しているものを改めて代表になるかどうかっていうのを調べてるということで、 |
| 0:19:32 | でもそれはどういう趣旨なんでしょうか。 |
| 0:19:36 | 評価、安定性評価されてるんであれば、それはそれで。 |
| 0:19:41 | 問題ないということによろしいんじゃない。 |
| 0:19:47 | 中国電力のカシマです。影響要因で今回グループの中で比較しておりますけれども、 |
| 0:19:54 | こちらの西山の防波壁の背後斜面がですね、最も影響要因として厳しい評価となって、 |
| 0:20:04 | いれば、その結果でもって代表できますけれども、そうでない場合は別の断面が代表断面として選定されるますので、今回の結果として1断面というのが影響要因の中で比較したときに一番厳しい断面となっているので、 |
| 0:20:19 | そちらを確認するという意味で、あの同じ土俵で影響要因と比べると比較しております。以上です。 |
| 0:20:31 | 規制庁クマガエです。 |
| 0:20:33 | 33断面については、結局 |
| 0:20:36 | 表層どう撤去するっていう対策工実施しているわけですね。 |
| 0:20:56 | 規制庁ナイトウですけれども、よくねこれ図面をちゃんと修正して欲しいんだけど、33断面でやっている斜面は、これは皆さん今対象斜面としてるのは、 |
| 0:21:08 | 撤去した部分を対象斜面としてだけど、実際に133で評価してるのはその上の書面だよ。 |
| 0:21:27 | はい、中国電力のユリですねと233ページに簡便法での評価を示しておりますけど、簡便法の滑り面につきましては、 |
| 0:21:37 | ウェイ側のほうの斜面になっております。 |
| 0:21:41 | というところで、 |
| 0:21:46 | 評価対象斜面としているのが違ってんじゃないのこれ。 |
| 0:22:05 | 中国電力のユリです。ちょっと233ページの滑り面自体が一番最初滑り安全率の滑り面を記載していることでちょっと誤解を招いているのかもしれないで |

| | |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| | すんですけど、斜面自体はですね。切取切り取り前と変わらず防波壁の足元の部分から |
| 0:22:24 | 斜面頂部までを対象としまして 233 ページに記載しているのもですね斜面高さ 76m ということで、足元から頂部までということで評価をしております。 |
| 0:22:36 | 簡便法の滑り面につきましても、この赤線で記載のもの以外も網羅的に話元も含めて探索をしまして、 |
| 0:22:45 | その中で一番最小のものがこの赤色の線ということで、そういった評価になってございます。以上です。 |
| 0:22:51 | 規制庁にあたってけど言ってることを理解している。 |
| 0:22:56 | 33 断面のところで切っているところの滑りを対象にしている斜面は切り取ったところだけだね。 |
| 0:23:05 | 皆さん今図示していると違うんですか。 |
| 0:23:19 | 道路の |
| 0:23:21 | 取得をしかグリーンに塗ってないよね。 |
| 0:23:39 | グリーンの斜面塗っているところの運営側は宇宙どのだっけ。 |
| 0:23:46 | そこで四国に塗ってないよね、でも実際の評価ってのは、下が取っちゃってるから数回滑りあってのその上のところですよ。違うんですか。 |
| 0:24:03 | はい、中国電力のユリです。ハッチングしているのおっしゃる通り、 |
| 0:24:11 | そうですね上側のところを評価しているようなことになっております。以上です。 |
| 0:24:17 | これを超えていることをやってることと違ってんじゃこれ。 |
| 0:24:23 | 評価対象断面としてすべてデータ医師選んだところ、今のところの簡易滑り評価やってますっていう書き方になった。 |
| 0:24:31 | てるんじゃないんですか。 |
| 0:24:33 | 違うんですか。 |
| 0:24:40 | 中国電力カシマです。申し訳ございません。 |
| 0:24:44 | こちらおっしゃられる通りで 233 ページで評価している斜面というのがこの緑のハッチングでちょっと含まれておりませんので、この斜面の範囲を超える形で修正させていただきたいと思います。 |
| 0:24:59 | 以上です。 |
| 0:25:38 | 中小の後ですけれども、これちょっと日本語都市なにおける雇用効果の 2 ページの赤ハッチングしたところ、 |
| 0:25:48 | 評価基準値の目安に先週 mol5 流出係数等に基づく時間で生じる評価することにより、 |

| | |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 0:25:56 | 聞こえてるんだけど、一/二千もPSケースごとから地盤物性としてやっていただきたい。 |
| 0:26:10 | はい、中国電力のユリです。おっしゃる通りでございますので、どちらかという とPS検層に基づく改良地盤の物性値っていう記載が、 |
| 0:26:19 | 前にあったほうが適切かと思えます。以上です。 |
| 0:27:59 | 規制庁私けど4本に今後ともよく進めてきてない時超すんですよね。 |
| 0:28:06 | いいことね。 |
| 0:28:08 | この両地盤に物性値も各種試験に基づき設定をした。 |
| 0:28:14 | ですよね。いややり方が若干違うけれども、 |
| 0:28:20 | 痕跡を物性値を核種により実施したと。 |
| 0:28:25 | なんですよ、99ページ |
| 0:28:31 | 各種試験によるやっとな部数値に基づいて流動化意識があった結果として一/ 二千を |
| 0:28:39 | モール後、 |
| 0:28:43 | 構造成立性交付見通しであるところを除去することが十分である。 |
| 0:28:48 | と判断したと。 |
| 0:28:50 | ですよね。 |
| 0:28:57 | 類、 |
| 0:29:02 | どう書くかって話だけど、どうつつ物性値のとり方午後、 |
| 0:29:08 | 通常のやり方違うとり方やっているの、 |
| 0:29:12 | それを今後 |
| 0:29:17 | 試験をきちんとやって物性値をとって、それに基づいて詳細設計の段階での 設計を行います。端的に言うとそういうことです。 |
| 0:29:48 | ね。 |
| 0:29:49 | 目的と手段が |
| 0:29:52 | これをね、基本設計段階としての基本Ⅲ基本設計方針としての部分と、 |
| 0:30:00 | を受けて今後やること。 |
| 0:30:05 | 当スロー確認するための手段がごっちゃになってるような気がするんだけど。 |
| 0:30:20 | 同月いことをすると。 |
| 0:30:23 | 本来やるべき試験方法じゃないやり方でやって、 |
| 0:30:27 | 会議やった物性値を定めた改良地盤Ⅱについては、 |
| 0:30:34 | 今ある数値の取り方では十分確保できてますっていうことを確認できますと、 |
| 0:30:39 | RIどころを基本設計方針として今後しっかりと試験をやってきちんと物性値を とって、それに基づいてグラウンドアンカーとかの効果を見込んだ形でもってき ちんと地盤を支持できる地盤であるというような設計をします。 |

| | |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 0:30:56 | つつうことですよね。 |
| 0:30:59 | 目的は、 |
| 0:31:01 | その手段として今回PS検層でってやつは、 |
| 0:31:05 | 管理目標値として設定をして、それをそれを担保できるような物質であるように地盤をきちんと管理します。 |
| 0:31:15 | というのが、 |
| 0:31:17 | 方法ですよね。違うんです。 |
| 0:31:23 | はい、中国電力カシマです。今ナイトウさんおっしゃられた通りで今回確認した物性というのが、 |
| 0:31:31 | 通常の試験等で確認した物性と違うので、こちらを管理目標値として、今後、 |
| 0:31:39 | 詳細設計段階のだろうか、何段階ですね、こちらを各担保をとっていくというのが中段になろうかと思います。ナイトウされるとおっしゃられた通りのことですので、こちら今、ちょっと今、申し上げたような物性値の今の取り方っていうのが、 |
| 0:31:56 | ちょっと書き方は変わりますが、そういった試験等に基づくものではないといったような |
| 0:32:02 | と場がですね、ないので、全体の文章が繋がらないんだと思いますので、そこをはっきり書くような形ですね修正したいと思います。以上です。 |
| 0:32:12 | 規制庁のですけど、言ってからPS検層等による試験に基づくものなんでしょうか。 |
| 0:32:17 | 白銅ものじゃないですよ。 |
| 0:32:21 | 中国電力カシマです。おっしゃる通りPS検層一部使っておりますが、強度とかは、こちらの値をもとに換算したような形の設定ございますので、あくまで設計値のような位置付けになろうかと思います。 |
| 0:32:37 | 以上です。 |
| 0:32:48 | 刀禰。 |
| 0:32:50 | 理解できてますかね、共通認識に立っているのかちょっとすごく疑問なんですけど。 |
| 0:32:56 | 改良地盤Ⅱ、 |
| 0:32:58 | 薬液注入工法による、 |
| 0:33:00 | 地盤は123という値改良地盤あるけれども、これについては、 |
| 0:33:10 | 各種試験により設定してるんですよ。 |
| 0:33:13 | もう試験の方法は違う、違うけれども、通常のやつと違うけど。 |
| 0:33:18 | PS検層の |

| | |
|---------|--------------------------------------------------------------------------|
| 0:33:20 | に基づいた試験結果に基づいて、あとは換算値とか海洋とか引っ張ってきているけれども、 |
| 0:33:28 | 試験等に基づいて設定してるんですね。 |
| 0:33:33 | はい、中国電力のカシマおっしゃられたあの試験等に基づいて設定一部慣用値を使っておりますけれども、 |
| 0:33:42 | 試験結果に基づいて設定しているということは間違いではございません。 |
| 0:33:46 | 以上です。 |
| 0:33:47 | その基本認識を変えられると困るんだけど。 |
| 0:33:57 | 中国電力カシマですとか、そちらのほうにナイトウさんがおっしゃられた認識と同じ認識でっております。以上です。 |
| 0:34:59 | 規制庁クマガエです。ちょっとまた別の観点でちょっと確認なんですけども、A3のほうの資料の2ページのところで、 |
| 0:35:07 | 一番訂正の三つ目のポツのところですけども、その地盤の安定性評価では、 |
| 0:35:12 | 別途実施した三次元浸透流解析結果を参考に行ったんですよ。 |
| 0:35:17 | 別途実施したっていうのはこれは、 |
| 0:35:20 | 何を |
| 0:35:21 | 言わんとして書かれてるのか、ちょっともし書くのであればきちんと書いていただければと思います。 |
| 0:35:34 | 中国電力のユリです。別途実施したわ。 |
| 0:35:38 | 時地下水の審査でっていうような意味になってしまっておりますので、ちょっと別途実施したといったものを削除させていただいて、三次元浸透流解析の結果を |
| 0:35:50 | 持って液状化範囲等設定しているという旨をしっかりと書きたいと思います。以上です。 |
| 0:35:58 | 規制庁クマガエで生じました。 |
| 0:36:32 | 規制庁クマガエです。 |
| 0:36:35 | 幾つか安定性確認できましたので、 |
| 0:36:37 | 時間もありますので、次の説明に移っていただければと思います。 |
| 0:36:47 | 中国電力の井上です。それが基準地震動みについて御説明いたします。 |
| 0:36:52 | 資料ですけども、資料番号 1PE071 回 04。 |
| 0:36:59 | それから本資料 1P071 かつこカイダ 04 の補足説明資料、 |
| 0:37:06 | それから3の概要資料 1P082 回 05 に基づいて御説明いたします。 |
| 0:37:13 | まず、3の申請後の反映、検討反映事項についてですけども、2ページ目をお願いいたします。 |

| | |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 0:37:22 | 2 ページ目の中段、基準地震動のところへと赤字で修正をしております、断層モデルに基づき用いた基準地震動 S_s-F1F2 の設定の方法について詳細に記載をしております、 |
| 0:37:37 | と地震動レベルが大きいケースということで記載をしておりますが、この地震動レベルがどういったものなのかということで、 |
| 0:37:45 | 括弧書きで詳細に補足をしております。 |
| 0:37:48 | 主要な施設の固有周期が存在する周期における応答スペクトル比じゃ断層モデルある S_s-D の比になります。それからの機器の耐震設計において着目する最大加速度値でこの二つを見て |
| 0:38:04 | S_s-F1F2 を設定をしているというところを詳細にこちらに記載をしております。 |
| 0:38:12 | 3 の資料については以上になります。 |
| 0:38:16 | 続いてパワーポイントの資料、 |
| 0:38:19 | この本資料のほうに基づいて御説明いたします。 |
| 0:38:24 | 前回の 4 月 9 日のヒアリングからの変更点について御説明いたします。PowerPoint本資料の 11 ページをお願いします。 |
| 0:38:39 | 11 ページですけれども、3 月 26 日の審査会合におきまして、最新の地震情報を反映することという御指摘をいただきましたのでこちら |
| 0:38:50 | に前回基準地震動関係の各分野の最後の会合からの変更点という変更内容ということでこちらのページを追加をしております、反映したページを記載をしております。 |
| 0:39:04 | 15 ページをお願いいたします。 |
| 0:39:12 | 15 ページ、こちらは前回の資料で反映できていなかったところなんですけれども、微小地震の震央分布図になりまして、前回の資料では 2016 年までの地震データで作成していたものを 2019 年まで見て最新のデータに基づいて更新をしております。 |
| 0:39:33 | ぱっと見の富場合については、同じになっておりますけれども、更新をしております。次の 16 ページにつきましてもこちらは深さ方向の |
| 0:39:46 | 微小地震の分布図になりますけれども、こちらも同じように最新データに基づいて更新をしております。 |
| 0:39:54 | 続きまして 47 ページをお願いいたします。 |
| 0:40:08 | 47 ページ、こちらは一番の地震観測記録を用いて到来方向別に見た 6 のをさ、地盤増幅特性を検討するという内容のものになりまして、こちらの最新の地震データに更新をしております。 |
| 0:40:26 | 左下の表でいきますと、12 番、No.12 以降の 4 地震を追加をしております。 |

| | |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 0:40:34 | それを踏まえて右側の水平上下スペクトル比を更新しておりますが、こちらも見た目は傾向としてはほとんど変わっていないというものになっております。 |
| 0:40:45 | 47 ページが 2 号の記録に基づいたもので、次の 48 ページ、こちらも同じ検討になりまして、こちらが 3 号の記録を用いた検討になります。 |
| 0:40:54 | もちろん 4 地震を追加しておりますけれども、 |
| 0:40:57 | 一応Vスペクトル比の傾向は前回と同じ傾向になっております。 |
| 0:41:06 | 続きまして 102 ページをお願いいたします。 |
| 0:41:18 | 102 ページですけれどもこちら地震発生層の設定におけるD10、D90 の検討になります。 |
| 0:41:27 | こちら 2016 年までのデータを 2019 年までに更新しておりますが、D10、文章の 2 行目に書いておりますけれどもD10 は約 5km、D90 は約 13kmという値については変更はございません。 |
| 0:41:46 | 以上が地震の追加についてですけれども、その他の主な変更点について御説明いたします。 |
| 0:41:53 | 戻っていただきまして 33 ページをお願いいたします。 |
| 0:42:05 | 33 ページ、こちらは、 |
| 0:42:07 | 解放基盤表面の設定についての説明になりますけれども、中段の①のせん断波速度Vs700 メーター/s以上のところの二つ目のポツを追加をしております、試掘坑調査の結果について記載をしております。 |
| 0:42:24 | 原子炉建物基礎地盤における弾性波速度はVs1.5 から 1.6kmメーター/s程度であり、堅硬な岩盤が平面的に広がりをもって分布をしているということを追加で記載をしております。 |
| 0:42:37 | その内容について補足説明資料のほうに記載しております補足説明資料の 14 ページをお願いします。 |
| 0:42:57 | 補足説明資料の 14 ページと 15 ページに試掘坑調査の結果を記載しております、14 ページが 2 号の調査の結果、15 ページが 3 号炉の原子炉建物の設置位置の調査の結果になります。 |
| 0:43:13 | 結果を数値を記載しておりますVsとVpの数値を記載しております、14 ページの見込みにつきましては、平均をとると。P波速度で 3.63kmメーター/sへS波速度で 1.64 キロメーター/sec |
| 0:43:30 | であり、健康な岩盤が平面的な広がりをもって分布をしていると。 |
| 0:43:35 | 15 ページの 3 号のほうですけれども、同じように平均値を二つ目の四角のところを書いておりまして、VPが 3.90 |
| 0:43:43 | Vsが 1.53 ということで同様に健康な岩盤が非広がっていると。 |
| 0:43:49 | いうことを記載をしております。 |

| | |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 0:43:54 | 続いて本資料に戻っていただきまして、 |
| 0:43:58 | 本資料の 170 ページをお願いいたします。 |
| 0:44:15 | 本資料の 170 ページですけれどもこちら特定せずの |
| 0:44:20 | 2008 年岩手宮城内陸地震の検討についてです。 |
| 0:44:25 | 前回の資料においては、島根原子力発電所の敷地周辺という記載をしておりましたが、審査ガイドの記載も踏まえまして、市、市、島根原子力発電所敷地近傍と、 |
| 0:44:39 | いうふうに表現を修正をしております。 |
| 0:44:45 | 続きまして 188 ページをお願いいたします。 |
| 0:44:59 | 188 ページ、こちらは基準地震動の策定における断層モデル手法による基準地震動の設定。 |
| 0:45:06 | の方法について記載をしたページになりまして、 |
| 0:45:10 | 一番上の文章の一番上の青字を追加をしております。 |
| 0:45:14 | 断層モデル手法による地震動評価結果はすべて基準地震動 S_s-D に包絡されているかということに記載をしまして、補足説明資料に飛ばしております。補足説明資料の 162 ページをお願いいたします。 |
| 0:45:42 | 補足説明資料の 162 ページにすべて空き断層モデルの評価結果すべて S_s-D に包絡されているということで、宍道断層だけではなくて、海域のF3、F4、F5断層、こちらもすべて |
| 0:45:58 | S_s -リング包絡されているということをこちらでちょっと前回の資料ではわかるようになっておりませんでしたので、補足のほうに追加をしております。 |
| 0:46:10 | 続きまして補足同じ事 165 ページをお願いいたします。 |
| 0:46:19 | 補足の 165 ページですけれども、こちら前回のヒアリングにおいて、個別べき資料を作成して御説明した内容になりますけれども、地震ハザード評価における地震データ更新の影響ということで、領域震源の地震ハザード評価をしたものを記載をしております。 |
| 0:46:38 | ちょっと前回の資料では領域震源と特定震源の年超過確率ごとの影響度合いというものを踏まえて記載してできてなかったということで、そこを修正をしております。 |
| 0:46:52 | まず一つ目の四角のところの最後のほうからですけれども、 |
| 0:46:56 | まずは、再経費、左側の図ですね、領域震源のデータの更新を踏まえまして、 |
| 0:47:04 | 最新のデータを用いた有機震源のハザード曲線は、年超過確率が 10 のマイナス 3 乗からマイナス 4 乗より高い範囲において、2016 年 3 月までのデータを用いたハザード曲線とほぼ一致をするということ。 |
| 0:47:19 | それから二つ目の四角、こちらの図、右の図になりますけれども、 |

| | |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 0:47:24 | 特定震源と領域震源の震源別のハザード曲線を比較しますと、 |
| 0:47:29 | 年超過確率が10のマイナス4乗程度より低い範囲では、特定震源の影響が大きいということ、この二つを踏まえまして、下三つ目の四角のところですけども、全体のハザード曲線地震時医師メーターの更新が、 |
| 0:47:45 | 全体のハザード曲線に与える影響はないということを判断したと。 |
| 0:47:49 | いう記載にしております。 |
| 0:47:53 | 続いて、次の166ページをお願いいたします。 |
| 0:48:00 | 166ページ、こちらも地震データを更新したものになりますけれども、ハザード評価において、耐専スペクトル、耐専式を用いる際の内陸補正を |
| 0:48:12 | ありとなしの重みづけの根拠として、 |
| 0:48:17 | 耐専スペクトルとを地震観測記録の比率を計算したものになりまして、 |
| 0:48:23 | 赤線が、地震観測記録に基づくサイト補正係数ということで、こちらもナンバー6のですね、島根県政府の地震が入っておりませんでしたのでこちらを入れて計算をして、 |
| 0:48:36 | 再計算をしておりますが、 |
| 0:48:38 | 結果ほとんど変わらないということを確認をしております。 |
| 0:48:45 | 最後に、同じ補足説明の5ページをお願いいたします。 |
| 0:48:55 | 補足説明資料の5、5ページですけども、こちらも前回、日TPという。恐慌とTPPの表記が混在を資料の中で混在をしております、こちらのページには、Dと書いてありましたけれども、地震動の資料に関してはすべて標高で統一をして、 |
| 0:49:14 | 全体的に修正をしております。 |
| 0:49:18 | また、他の分野でTPP容器としているものもありますけれども、そちらについては、TPPと標高はイコールだということで、そういった旨を記載させていただこうと。 |
| 0:49:29 | いうふうに思っております。 |
| 0:49:31 | 頻度に関する説明は以上でございます。 |
| 0:49:50 | 規制庁サグチですけども、 |
| 0:49:52 | 前回からの変更点については確認できましたので地震、 |
| 0:49:58 | 最新のものにして、 |
| 0:50:01 | 最新の結果、 |
| 0:50:04 | いうことでいくつか追加をされ、 |
| 0:50:07 | て、 |
| 0:50:10 | ハザード曲線と思うんですね。 |
| 0:50:12 | 結局ふやしてもほとんど |

| | |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 0:50:15 | 変わりませんよって。 |
| 0:50:17 | いうことについても、 |
| 0:50:19 | 一応確認できます。 |
| 0:50:22 | て、 |
| 0:50:23 | ちょっと |
| 0:50:26 | 今まとめ資料等、それから、参考資料、ちょっと |
| 0:50:32 | 突き合わせてですね過不足なくとかあと整合性というのをちょっとあの確認をしたんですけど。 |
| 0:50:42 | 幾つかですね。 |
| 0:50:47 | 参考資料のほうにはなくて、まとめ資料のほうにある部分に関しては、よりまとめ資料のほうの詳細なことを書かれているっていうので。 |
| 0:50:59 | わかるんですけど。 |
| 0:51:01 | ちょっと逆のパターンだって。 |
| 0:51:03 | 参考資料に書かれているんですけど、まとめ資料にはないというのがあるので、 |
| 0:51:08 | で、これは |
| 0:51:11 | おそらくいろんなこう |
| 0:51:13 | 審査会合、これまでの |
| 0:51:15 | 中であるはずなんですけど。 |
| 0:51:19 | ちょっと、 |
| 0:51:20 | 具体的に |
| 0:51:21 | 言うतですね。 |
| 0:51:26 | 地震観測のところなんですけれども、 |
| 0:51:39 | 40 |
| 0:51:40 | 5 ページ。 |
| 0:51:42 | 目以降、44 ページか。 |
| 0:51:47 | 鉛直アレイの記録で、 |
| 0:51:54 | 幾つかされていて、なんか一応代表的なものとして鳥取県西武って出されてるんですけど、参考資料だと四つぐらい地震があってですね、それを示されているんですけど。 |
| 0:52:09 | そう。 |
| 0:52:11 | ほかの地震、 |
| 0:52:13 | どうなってるかっていうのがちょっと補足説明を含めて、 |
| 0:52:18 | ちょっと確認ができなかったので、 |
| 0:52:21 | 少なくとも、今その他の観測。 |

| | |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 0:52:26 | 地震てまとめ資料にはないっていう理解でよろしいです。 |
| 0:52:37 | 中国電力の井上です。 |
| 0:52:40 | そうですね。代表的なものとして鳥取県セーブ |
| 0:52:44 | まとめのほうには今、 |
| 0:52:47 | 記載をして、 |
| 0:52:48 | おります。その他については、まとめのほうには記載はできておりません。 |
| 0:52:55 | 以上です。 |
| 0:52:58 | はい。 |
| 0:53:00 | 具体的に言うとその参考資料の 6-5-108 ページなんですかね。 |
| 0:53:06 | 四つ地震があつて、今のその一つしかまとめがないので、ひよつとするとですねこれ。 |
| 0:53:13 | 場合によってこれ審査の過程で見えないんじゃないかっていうふうに |
| 0:53:17 | 思われてしまうと。 |
| 0:53:20 | それが問題なので、参考資料 2、 |
| 0:53:23 | これだけじゃないかもしれないんですけど。 |
| 0:53:26 | 書かれている部分に関しては、最低限、 |
| 0:53:32 | このまとめ資料には入れるようにしてください。 |
| 0:53:39 | 中国電力の井上です。 |
| 0:53:42 | 承知いたしました。どうこの地震観測についてはですね、審査の過程においてはですね、地下構造の審査のときに、地震観測資料集というものをつくりまして、ある程度大きいものについてはすべて加速度はつきりと応答スペクトル、 |
| 0:53:58 | 見事 3 号すべてですね、お示しはしておりますが、今ちょっとこのまとめ資料には反映できていないということで、そちら反映させていただきたいと思えます。以上です。 |
| 0:54:10 | はい、よろしく願います。あともう非常に細かいちょっと記載ぶりのところがあるので、そこはもうちょっと確認をしていただきたいんですけども、やっぱりそれ参考資料のほうには同じように書かれているんですけど、これはもう文言だけの話になるかもしれない。 |
| 0:54:26 | けど、まとめ資料にはないっていうのが、例えば 22 ページで、 |
| 0:54:34 | これ活断層の分布状況で |
| 0:54:37 | 幾つか書いてあつて、 |
| 0:54:42 | 敷地から 30km、 |
| 0:54:44 | ていうのは、宍道断層とか、陸域にはついてはあるんですけど。 |
| 0:54:51 | 実は海域について、特に触れてなくて、 |
| 0:54:56 | 参考資料のほうには当然これ書かれているんですけど。 |

| | |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 0:55:00 | まとめ資料には、例えばさ 30km以内にはこういうのがありますっていうのが、具体的に言うと、もう連動を考慮したっていうので始まっちゃって、F3 から方ぐらいしかなくて、 |
| 0:55:14 | 実はほかにも当然あるわけなんですけど。 |
| 0:55:17 | このFK位置の断層、 |
| 0:55:20 | そう。そういう。これは文言だけかもしれないんですけど、ちょっと参考資料のほうと、このまとめ資料、 |
| 0:55:27 | っていうので、抜けがないかっていうのは、 |
| 0:55:30 | 再度ですね、確認をしていただいて、 |
| 0:55:33 | ちょっと記載の |
| 0:55:38 | 整合性ですかね。そうそういうのはとって、 |
| 0:55:42 | いただきたいと思います。 |
| 0:55:49 | 中国電力の井上です。 |
| 0:55:51 | 御指摘承知いたしました。こちらについても記載の整合性を図りたいと思います。以上です。 |
| 0:55:59 | はい。あと、ごめんなさい、本当に細かい事で申し訳ないんですけど、138 ページに、 |
| 0:56:05 | 二つ目の四角ですね。 |
| 0:56:08 | 要は体制に適用外なんでほかの式を使います距離減衰式を、 |
| 0:56:16 | 使いますっていうんですけど、このNGAとで、 |
| 0:56:20 | ほんとにいいのかどうかっていう話ですね。 |
| 0:56:25 | これ、多分ここ細かいこと言うとNENGのウエストⅡになって、2014 年版かなんかを使ってると思うんですけど。 |
| 0:56:34 | ちょっとこのNGA等っていう記載が本当にいいのかどうかっていうのは、確認をしてください。 |
| 0:56:48 | 中国電力の井上です。今のNGA等のところですけども、NGA議題に国内の土気も使っているということで、それはすべてって今討議含めているんですけども、そちらもわかるように記載を、 |
| 0:57:05 | をするというそういった御趣旨でしょうか。 |
| 0:57:10 | はいサグチですけどね。そう。そこはちょっとおまかせしますが、少なくともNGA等って言うこのNGAっていうのがいつもNGAのことだって例えば 2014 とか、2012 だったんですけど。1 でしたっけなのかっていうのもちょっとよくわかんないです。 |
| 0:57:26 | その辺も含めてちょっとここ記載を適正化をしていただきたいと思います。 |
| 0:57:36 | 中国電力の井上です。 |

| | |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 0:57:39 | どうぞ。 |
| 0:57:40 | NGEMIについてはですね、一応参考文献のほうにはすべて、この前も御指摘をいただいてですね。SMGA等について、全部で9式あるんですけども、そちらについては今すべての参考文献のほうには記載をさせていただきます。 |
| 0:57:57 | 以上です。 |
| 0:58:02 | はい。ちょっとそこはご確認いただいて、例えば参考資料とかで書かれているような形で同じように書かれるとか、そうそこはちょっとまた整理します。 |
| 0:58:15 | ちょっと最後ごめんなさい引き続き171ページで、 |
| 0:58:19 | これ特定せずの話なんですけど。 |
| 0:58:24 | この鳥取県西武ってすごく実はあっさり書かれていて、あくまでもこれ発電所の周辺で発生した地震だから、観測記録を収集しますって書かれてるんですけど。 |
| 0:58:37 | 私の理解では少なくとも、周辺で発生はしてることは間違いないんですけど、結局、周辺ということは、地質学的とか |
| 0:58:52 | 地震学的でしたけど、何かそういう会計が類似しているので、 |
| 0:58:59 | 観測記録を収集しますという理解なんですけど。 |
| 0:59:03 | まずそうということによろしいですね。 |
| 0:59:10 | 中国電力の井上です。その通りでございます。以上です。 |
| 0:59:14 | はい、すいませんじゃそうそれがわかるようなちょっと記載というか、していただきたいと思います。 |
| 0:59:23 | 中国電力の井上です。承知いたしました。以上です。 |
| 0:59:29 | はい、規制庁サグチです。地震のまとめ資料については私からは以上です。 |
| 1:00:04 | 規制庁クマガエです。はい、新についても今ちょっとコメントさせていただきましたので、次の説明のほうに移らせてください。お願いいたします。 |
| 1:00:16 | 中国電力の今村です。続きまして、敷地周辺に機器の設置する構造について御説明をさせていただきます。資料といたしましてはEP070 回ゼロ、この本資料、 |
| 1:00:29 | EP070 法解 04 のにしろ |
| 1:00:33 | 手元にあることを御確認ください。 |
| 1:00:41 | 規制庁クマガエです。はい、続けてお願いいたします。 |
| 1:00:46 | はい、中国電力の今村です。それではまず、概要資料のEP082 回 05 の資料から御説明をさせていただきます。 |
| 1:00:56 | 陸域資料に関しましては、主な変更点としましては赤字で示しておりますが、主に2ポツ目の宍道断層と鳥取沖西武断層の連動評価につきまして、前回①から③の |

| | |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1:01:10 | の調査結果から、連動しないと評価とさせていただきます。これがわかりやすいように以下に示す検討結果よりというふうに変更させていただきます。 |
| 1:01:20 | その他の変更点はございませんで、続きまして本編資料の |
| 1:01:25 | 御説明をさせていただきます。 |
| 1:01:28 | 本編資料を御確認ください。まず本編資料の修正。 |
| 1:01:34 | 場所といたしましては、全体の構成といたしましては記載の適正化や、前回のヒアリングの指摘を踏まえまして、敷地近傍の断層が判別できるように半径 5 kmの円を追加、また、地震調査研究推進本部 2016 への文献についての記載の充実化、 |
| 1:01:52 | また、各地点の調査結果の概要を示す資料について、断層の活動性を示す凡例の修正や、調査地点と調査結果の対応の整理、 |
| 1:02:02 | また前回削除いたしました各調査地点の調査結果の概要を示した資料を修正してまた追加をしております。 |
| 1:02:09 | また忘れ穴道断層と文献との関係を示した図を追加し、また補足資料につきましては、福浦か自動だけの地質の文献で可能中の 1985 のモノクロ地質図をからに差し替えを行っております。それではまず、一つ目として、いたしました本編の 1 ページ目を御参照ください。 |
| 1:02:31 | 本編の 1 ページとまとめの 367 ページには、ほぼ同様の資料の数割おりますが、敷地近傍の断層が判別判別できるように、半径 5kmの円を追加しております。 |
| 1:02:43 | 続きまして 35 ページ目を御参照ください。 |
| 1:02:52 | 35 ページ目には、地震調査研究推進本部 2016 への分岐につきまして、 |
| 1:02:58 | 断層線が引かれている箇所と前回Pワンでお示しておりますラインで示されている箇所を地図で協議したものを追加させていただきます。 |
| 1:03:07 | もともとの資料につきましては、次のページの 36 ページに記載をさせていただきます。 |
| 1:03:15 | こちらの |
| 1:03:17 | 文献につきましては、穴道断層は島根県マツエ市カシマ町から島根県マツエ氏美保関町にかけて分布し長さを約 21、1kmもしくはそれ以上で概ね東西方向に延びる横ずれを主体とする活断層と表記されております。 |
| 1:03:35 | では続きまして、 |
| 1:03:37 | 各地点の調査結果の概要を示し量について断層の活動性を示す凡例の修正や調査地点と調査中結果の対応の整理をし、指摘されていた点について御説明させていただきます 262 ページをご参照ください。 |
| 1:03:57 | 262 ページから 266 ページに関しましては、各地での調査結果の |

| | |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1:04:04 | 断層の活動性の資料をもとと断層の活動性が認められる箇所は、 |
| 1:04:11 | パパ |
| 1:04:12 | 認められない地点は白完全に否定できないところが黄色で示していましたが、完全に否定できないところは黄色を青に修正をさせていただいております。あわせて、こちらの調査結果の概要につきましては各地点の調査結果。 |
| 1:04:27 | 地点と結果が、それでわかるように記載の修正、適正化を整理をさせていただいております。 |
| 1:04:34 | 続きまして、270 ページをご参照ください。 |
| 1:04:41 | 270 ページ目には、前回削除を行っていましたが、各地点の評価の概要の資料を追記追加させていただきます。また前回の資料の |
| 1:04:54 | 補正と変わっている検討いたしましたは、森山地点が、前は 1 点のみのプロットするとさせていただきましたが、こちらにつきましては調査地点をすべてプロットできるように 3 地点を追加し 2 地点を追加しております。また森山造成地の断層露頭につきましても、 |
| 1:05:11 | 3 地点がプロットされておりましたが、こちらにつきましてもすべてをプロットし 4 地点をプロットさせていただいております。 |
| 1:05:19 | 続きまして、271 ページ目を御参照ください。 |
| 1:05:26 | 271 ページ目に関しましては、当社が評価しました宍道断層の評価長さとの関係を示した増へ追加追加しております。 |
| 1:05:37 | こちらを示した上で、宍道断層の評価長さは最新の文献、地震調査研究推進本部 2016 年及び今泉ほか編 2018 年の評価長さに対して不確かさを考慮している。 |
| 1:05:52 | 音が見てとれるような |
| 1:05:54 | 記載させていただいております。 |
| 1:05:56 | 続きまして、補足説明資料の 244 ページをご参照ください。 |
| 1:06:11 | ね、こちらの福浦地蔵崎の各種文献の値出勤前回 |
| 1:06:17 | 提起させていただきましたが、真ん中の下の中の 1985 の地質図がモノクロであったため、こちらにつきましてはカラーにさ、司会をさせていただいております、陸域の修正箇所については、変更点は重い以上です。 |
| 1:06:37 | 。 |
| 1:06:39 | 生存性規制庁のカイダです。 |
| 1:06:42 | 私の方から何点か確認させていただきます。まず |
| 1:06:49 | 1 ページの |
| 1:06:52 | 平面図に 5km の円をいれられたという。 |
| 1:06:56 | 転倒後これと同じものが、 |

| | |
|---------|-------------------------------|
| 1:07:00 | ほぼ同じものが、 |
| 1:07:03 | 367 ページですか。 |
| 1:07:07 | こっちも 5kmの円を入れていただきまして確認できました。 |
| 1:07:12 | それで前回も少し確認したんですけども、 |
| 1:07:17 | 367 ページで言いますと、 |
| 1:07:21 | さっきのうち、北側っていうこの⑪番があるんですが、 |
| 1:07:27 | これは 5kmに入らないっていうことで、 |
| 1:07:31 | 前回説明あったかと思います。確かにこの |
| 1:07:35 | 線を見ると入ってないっていうことなんですけれども、 |
| 1:07:40 | ちょっとそうするとですねこの横のフローチャートでいくと。 |
| 1:07:44 | 上から |
| 1:07:46 | 伸びてきて、 |
| 1:07:52 | 真ん中のひし形のところ、 |
| 1:07:54 | 三紀たときに、 |
| 1:07:57 | 下記のうち北側、 |
| 1:08:00 | 5km以内にも入ってないし、 |
| 1:08:02 | 長さ 15kmにもよりも短いので、 |
| 1:08:06 | 該当しないということでこの緑色の |
| 1:08:10 | 孤立した短い活断層として評価する。 |
| 1:08:13 | いうところになるのかなと思うんです。これももう |
| 1:08:17 | 額面通り当てはめばですね。 |
| 1:08:20 | ただ |
| 1:08:21 | この説明資料上は |
| 1:08:24 | 牧野知北側もう地質調査をした結果、 |
| 1:08:29 | 活動性がないというような説明もあってですね。 |
| 1:08:34 | これ |
| 1:08:37 | ちょっとその辺りの |
| 1:08:38 | 資料上のなんか何とか整合性として、 |
| 1:08:43 | どうかなというふうにちょっと |
| 1:08:45 | 思うんですけども、この辺りちょっと、 |
| 1:08:48 | このフローと |
| 1:08:50 | えっとの関係と、 |
| 1:08:53 | 説明いただけますでしょうか。 |
| 1:09:09 | 中国電力の今村です。少々お待ちください。 |
| 1:09:24 | はい、中国電力の田中です。本編資料のですね。 |

| | | |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 1:09:29 | | 300 |
| 1:09:32 | 2 ページをお願いしたいと思うんですけども、 | |
| 1:09:42 | こちらの夏季のうち北側の断層の調査結果を示しておりますけれども、こちらにつきましては総合評価としては最後組織地形という記載しております、個別の露頭スケッチがこの 302 ページのほうにも示しておりますが、断層自体がちょっと見た認められないということでございます。 | |
| 1:10:00 | 正確に申し上げますと多分評価のフローですね 367 にお示しておりましたこの Pro には載ってこないような形かなというふうに思います。ちょっとこの組織地形に関する取り扱いというのはこのフローだけでは、 | |
| 1:10:15 | 読み取れない部分もあろうかと思っておりますので、少しちょっと記載の方法を再検討させていただきたいなというふうに思います。以上です。 | |
| 1:10:28 | はい。規制庁のカイダです。そうですね | |
| 1:10:32 | 組織地形の扱ってという話だと例えばそのあとのマンダム付近ってやつも組織地形、 | |
| 1:10:41 | っていうふうに評価されて | |
| 1:10:44 | 調査した結果、断層がなくて組織地形っていうのも含めての | |
| 1:10:49 | フローチャートかなと思ってたんですが、いずれにしてもこの | |
| 1:10:53 | 下記のうち北っていうのはちゃんと評価して | |
| 1:10:58 | 菊地 | |
| 1:11:00 | した結果孤立した短い断層として評価。 | |
| 1:11:04 | 見てはいないけど、 | |
| 1:11:07 | 活動性がないという評価したってということで、もう少しこのフローチャートそのまま当てはめると、おかしいことになっちゃうようにも見えるのでこのあたり、 | |
| 1:11:17 | そこがないような形で | |
| 1:11:21 | ちょっと改善いただきたいので、よろしく申し上げます。 | |
| 1:11:26 | はい、中国電力の田中です。そうですねおっしゃる通り組織地形という判断するためにお金を必ず地質調査のほうもセットで行っておりますので、そこは評価フローのほうでも読み取れるように整理させていただきたいと思っております。以上です。 | |
| 1:11:44 | はいはいはい。カイダですね、あと、別の観点ですねもう 1 点確認させていただきます。 | |
| 1:11:53 | | 270 |
| 1:11:55 | 1 ページをお願いします。 | |
| 1:12:01 | 270 ページと 271 ページは今回 | |
| 1:12:06 | 参考っていう形で付け加えられた図ということで説明がありました。 | |

| | |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1:12:13 | 271 ページのほうなんです、ここに |
| 1:12:18 | ここ三坑なんでこの最後に、 |
| 1:12:21 | 載っているかなと思うんですけども、ちょっとその場所は置いといて、 |
| 1:12:27 | 下の記載ですね、 |
| 1:12:31 | 宍道断層の評価長さや文献の評価長さ等の関係ということで、 |
| 1:12:38 | 宍道断層の評価長さは最新の文献、 |
| 1:12:41 | その評価に対して不確かさを考慮しているというような書きぶりとなっておりますけれども、 |
| 1:12:47 | それまでの前のページまでの評価を記載は |
| 1:12:53 | 不確かさを考慮しているという、記載はある或いはするんですけども、 |
| 1:13:01 | もろもろ調査した結果、高高なんだけれども損調査結果としてこうであると。ただ不確かさを考慮して、 |
| 1:13:11 | こういった評価になるっていうような形で調査結果。 |
| 1:13:15 | 自社での調査結果等に対しての不確かさも考慮した結果長くなるような |
| 1:13:23 | 書きぶりなんです、 |
| 1:13:25 | 271 ページの |
| 1:13:28 | 文献の長さに対して不確かさを考慮してっていうのはちょっと |
| 1:13:33 | なかなかぴんとこないんですけどこれどういったことを表現されているのか。 |
| 1:13:39 | 教えていただきたいんですけど、 |
| 1:13:46 | 中国電力の田中です。不確かさという表現につきましては、例えば 269 ページの |
| 1:13:54 | になりますけれども、 |
| 1:13:59 | 西端の評価とか東端の評価の中でも不確かさっていう評価減を使わせていただいております。これは陸域境界付近の調査結果の不確かさでございましたり、あとは後期更新世。 |
| 1:14:11 | 地層がないということでございまして、その辺の活動性が完全に評価できなかったと否定的ななかったということで不確かさっていうことで使っております。その意味での不確かさというのは我々の調査結果に対しての不確かさということで表現をさせていただいております。 |
| 1:14:29 | 今御指摘がございました 271 ページの不確かさでございますけれども、これどちらかといいますと文献の評価長さに対する結果論というところでございまして、文系の評価長さに対しても、不確かさ、 |
| 1:14:46 | 不確かさでいいですか |

| | |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1:14:49 | それを魔法包絡するように、当評価長さが設定されているという意味合いで等書いているつもりではございますけども、表現につきましては少しなんか今我々がやってる評価とは、 |
| 1:15:05 | 少し位置してない部分もあろうかと思imasuので、記載のほうを少し検討させていただきたいと思imasu。以上です。 |
| 1:15:15 | はい、はい規制庁のカイダです。 |
| 1:15:17 | いや、今おっしゃったように長さこの文献に対して、 |
| 1:15:22 | 不確かさを考慮しているっていうのは何かちょっとぴんとこない表現かなと思imasuので、おっしゃってるように結果として、長さを比較したら、事実関係として長くなっているところかなと思imasuのでその辺り、 |
| 1:15:41 | 適切に事実関係が表現されるような書きぶりで |
| 1:15:49 | あと、 |
| 1:15:50 | していただきたいので、そこに、その点はよろしくお願imasuします。 |
| 1:15:55 | 私からは以上です。 |
| 1:16:04 | 規制庁のマツスエです。270 ページでちょっと質問なんですが、 |
| 1:16:14 | 陸域についての色分けは、検討して見やすくしていただいたっていうのはわかったんですが、 |
| 1:16:22 | 未飽和絡みの海域の測線も、これ。 |
| 1:16:29 | 書いていただいているんですけど、これは全部しろということは、 |
| 1:16:35 | 稜活動を認められないという調査結果ということなんでしょうか。 |
| 1:16:46 | はい、中国電力の田中です。その通りの解釈でございまして、音波探査の結果、断層が認められないということと、もう一つ、美保関東方沖合に行きますと、断層がございましてそれについては活動性がないということを |
| 1:17:02 | 確認させていただいておりますので、当断層活動が認められないっていう白丸の評価でお示しさせていただいております。以上です。 |
| 1:17:20 | わかりました。 |
| 1:17:27 | あくまでも |
| 1:17:31 | Pu |
| 1:17:32 | 地震本部の |
| 1:17:35 | 16 ため重力異常によるPワンを評価したということですか。 |
| 1:17:45 | はい、中国電力の田中です。評価の考え方につきましては、前のページの269 ページにもお示ししておりますけれども、270 ページの図で御説明しますと下宇部尾東というところをもともと東端として今評価をしておりましたが、 |
| 1:18:03 | その東側のほうで青色の丸印があるように、まず後期更新世以降の断層活動が否定できないという風に否定できないということで、いわゆる年代指標となる |

| | |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 上載地層がないということで、完全に否定できないという地点が今幾つかあったということと、 |
| 1:18:20 | もう一つは、酒井水道といいますけど弓ヶ浜とこの島根半島間のところに酒井水道というございまして、こういったところを含めていわゆる海陸境界でのやはり調査が十分にできない部分もあるということでございまして、町村その調査の不確かさという |
| 1:18:36 | a陸境界付近の調査の不確かさということでこの2点を考慮しまして、島根半島の沖合で都心部から浅部まで深くまでいろんな音源を使った音波探査をやりまして、やはり島根半島を横断するように音波探査をして、活動性が認められないということ |
| 1:18:54 | 確実に確認ができたところと、 |
| 1:18:56 | もう1点は当地震本部の方で構造不連続等が推定されるとされるまあ重力異常AP湾というものがございまして、このPワンの重力異常が認められない地点ということをこの2点を考慮しまして、当不確かさを考慮して美保関とこ経緯沖合に |
| 1:19:15 | 東端を設けたということでございます。以上です。 |
| 1:19:23 | ちょっとくどいようですが、267ページっていう |
| 1:19:29 | これは陸域の調査海域の調査の結果を |
| 1:19:35 | 有毒66ページなんですかね。 |
| 1:19:56 | ここでは断層活動認めるとわかりましたじゃ私のほうがちょっと資料読み込み不足でした。 |
| 1:20:05 | 以上です。わかりました。以上です。 |
| 1:20:15 | はい。規制庁の返すの今のお話にちょっと関連して私も、 |
| 1:20:21 | 気づいた点確認させてください。 |
| 1:20:25 | 例えばですね |
| 1:20:28 | 267ページの |
| 1:20:31 | 3ポツ目で、 |
| 1:20:35 | 雨森山2ポツ目が森山まで。 |
| 1:20:38 | 3ポツ目からは、が森山から地蔵崎の調査の結果、 |
| 1:20:44 | 一部を除いて、ここことで、 |
| 1:20:48 | 活動が完全には否定できないと。 |
| 1:20:52 | ということが書いてあって、 |
| 1:20:55 | つまり岩森山から地蔵崎の間では完全には否定できないっていうような |
| 1:21:02 | これも書いてあるんですけどもその |
| 1:21:06 | 意味してるのは、270ページで言うと、 |

| | |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1:21:11 | 森山から地蔵崎の間で |
| 1:21:15 | 完全には否定できないという |
| 1:21:18 | 青で示してやるものばかりでなくてほとんどしろ。 |
| 1:21:23 | で書いてあるようなんですが、 |
| 1:21:26 | 完全には否定できないという 267 ページの |
| 1:21:30 | 書いてあるところの意味するところは、 |
| 1:21:33 | 270 ページでいくと。 |
| 1:21:37 | どこの丸の辺りをさして、 |
| 1:21:40 | 表現されているのか確認させてください。 |
| 1:21:54 | はい、中国電力の田中です。 |
| 1:21:57 | 今 267 ページの 3 ポツ目のところで断層活動完全に否定できないというところはどいった地点ですかというふうなご質問ございましたので、それに対する回答でございますけれども、 |
| 1:22:09 | まずは江藤核の調査地点の中で上載地層がなくて完全に否定ができないという地点で、青色の丸実施を丸印をお示しているところ、まずこの地点が否定できない地点になるということでございまして、もう 1 点は、 |
| 1:22:26 | 3 ポツ目のまた以降に記載しておりますけども、陸海境界付近ですね、いわゆる酒井水道を中心とした陸海境界付近におきまして、十分な調査ができていないというところこの 2 点を大きく 2 点を踏まえまして、 |
| 1:22:42 | 後期更新世の断層活動は完全には否定できないというふうに解釈をしております。以上です。 |
| 1:22:55 | 規制庁のカイダです。 |
| 1:22:59 | そうすると |
| 1:23:04 | この青の |
| 1:23:07 | もうさっき森山から地蔵崎までの間っていうの書きぶりだったけど、まじっ実際は、 |
| 1:23:15 | 見合うく 70 ページで青い色がついてるのは森山から |
| 1:23:20 | 委員の辺り。 |
| 1:23:21 | みたいな、 |
| 1:23:22 | 書きぶりにはなってるんで、正確に言うとその辺りのところを指しているという。 |
| 1:23:29 | そういったことで、消火 |
| 1:23:38 | はい中国電力の田中です。おっしゃる通り陸域で実際に調査した支店視点としましては、そのような解釈でよろしいかと思っておりますけれども、もう一度同じ話になってしまいますけれども陸海境界付近で |

| | |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1:23:53 | 十分な調査がまだできていないということも踏まえてということで、解釈をしております。以上です。 |
| 1:24:01 | はい、規制庁の考えはわかりましたこの丸がついているところではなくて、漏水抜けているかもしれないと、多分そういう意味かなと。 |
| 1:24:09 | ということでかなと思って理解しました。 |
| 1:24:15 | 以上です。 |
| 1:24:27 | 規制庁タニです。 |
| 1:24:28 | ちょっと内容についてじゃないんですけど、69 ページで写真位置ってというのが僕の資料では抜けて、 |
| 1:24:37 | ちょっとこのこういったことがほかの分野も含めてですね、ないか確認して、 |
| 1:24:42 | よろしく願いいたします。 |
| 1:24:49 | はい、中国電力の田中です。大変申し訳ございませんでした。またこちらの継ぎ手数流水提出歳入ですねすべて細かく確認をしてご提出させていただきたいと思います。大変申し訳ございませんでした。 |
| 1:27:11 | 集中該当ですけども、ちょっと等後で見追っかけやすくするようにというね、264 ページということは森山造成地として四角く囲っている。これA断層露頭 4 から⑦まで。 |
| 1:27:28 | 上げていくんだけど、これって 193 ページからの |
| 1:27:35 | 露頭 |
| 1:27:36 | ですよ。 |
| 1:27:38 | なんだけど、表題がこっちは森山付近になっていて、むしろと合っていないんですよ。で、 |
| 1:27:45 | 利益 192 ページで森山IAEA調査がよかつ構造設置付近 |
| 1:27:51 | とは書いてあるんだけど、もう断層露頭のところの番号行くとこれが森山付近の造成地。 |
| 1:28:02 | 付近の露頭なのかどうなのかって、 |
| 1:28:05 | 資料あっちめぐりこっちめぐりしないとかけていけないことで、この辺をもうちょっと工夫できません。 |
| 1:28:15 | はい、中国電力の田中です。 |
| 1:28:18 | そういう表現のほうが統一がとれてなかった部分があるかと思いますのでそこ適正化図りたいと思います。以上です。 |
| 1:29:14 | 規制庁クマガエです。 |
| 1:29:17 | 続けて私の説明していただきたいと思うんですが、ちょっと次側の方を先にですねご説明いただければと思うんですがよろしいでしょうか。 |

| | |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1:29:33 | 島根発電所の火山影響評価について御説明をさせていただきます。火山の資料といたしましてはEP079 回 04 及び補足説明資料としてEPE079 歩会 04-2 試料と。 |
| 1:29:49 | 及び補足を参考資料の異常 3 資料が火山の資料となります。お手元を御確認ください。 |
| 1:29:59 | 規制庁クマガエです。はい、よろしくお願いします。 |
| 1:30:04 | はい。 |
| 1:30:05 | それではまず火山影響評価につきまして、概要資料の説明からさせていただきます。Pd082 回 05 の概要資料の一番、3 ページ目の火山の項目を御確認ください。 |
| 1:30:20 | 前回資料では三瓶山第 1000 え及び打つ量との火山灰シミュレーションを実施し、300 基のテフラに焦点を当てた記載となっておりますが、今回記載の充実化を図り、主文下か箇所を赤字で明記しております。 |
| 1:30:34 | まず 2 ポツ目の記載につきましては、3 ポツ目の地質調査で火山灰の確認を行う前段として、記載を追加させていただいております。また 4 ポツ目の |
| 1:30:49 | 赤字で記載させている内容につきましては、今後 5 ポツ目に明示しております Acシミュレーションを前回はシミュレーションを実施する火山を明記することどまっておりますが、シミュレーションを実施、実施した具体的な火山灰を明記し、その全体その前段として、4 ポツ目に、 |
| 1:31:06 | 対象とするというふうを選定理由を記載させていただいております。 |
| 1:31:11 | 続きまして、本編資料 2 の説明に移らせていただきます。 |
| 1:31:17 | まず修正の概要といたしましては、火山影響評価についての申請時及び最終評価の記載の適正化記載の統一、また、文中に記載されている引用文献の中で、巻末の参考文献リースの P 中いないもののリストに追加するなどの説明を行っております。 |
| 1:31:34 | まず、2 ページ目を御参照ください。 |
| 1:31:40 | うん。 |
| 1:31:42 | 2 ページ目の概要の設計対応不可能な火山事象伴う火山活動の評価結果につきまして、赤字で明記しておりますが、前回資料につきましては、設計対応不可能な火山事象が敷地に到達する可能性は十分小さいと評価させ、 |
| 1:31:59 | 下と表記しておりますが、一方龍野次に発生する可能性も追記させていただいております。 |
| 1:32:05 | こちらにつきましては同様の文章が 37 ページにもありますので、同様に修正を行っております。 |
| 1:32:11 | またモニタリングについても同様に修正、修文をさせていただいております。 |
| 1:32:17 | 続いて 6 ページ目を御参照ください。 |

| | |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1:32:24 | じゃあの6ページ7ページ目には、新生児科の変更ないような表示したものがあありますが、こちらにつきましては前回資料では可能性はないと、表表現がされておりましたが、こちらは他の |
| 1:32:37 | 資料との |
| 1:32:38 | 弁の記載を合わせるように、可能性は10分小さい。 |
| 1:32:42 | というふうに同様に修文をさせていただいております。 |
| 1:32:46 | 続きましてオレンジ枠で囲って16ページのオレンジ枠で囲っております原子力発電所に影響をおよぼし得る火山の抽出に関しまして、 |
| 1:32:56 | そのうち、原子力発電所の影響をおよぼし得る火山としまして前はそへ抽出した火山をの火山例を明記していませんでしたが、この表に新生児A及び最終評価の火山名を明記しております。 |
| 1:33:12 | うん。 |
| 1:33:14 | 続きまして7ページのピンクの個別評価の結果を受けた原子力発電所の火山事象の影響評価につきまして、 |
| 1:33:24 | についても同様に可能性はない。同様に可能性は10分小さいというふうに修文させていただいております。 |
| 1:33:32 | また |
| 1:33:33 | 本編の142ページ目を御参照ください。 |
| 1:33:41 | こちらレグ層に同じように早川方に関しましても、赤字で記載されております通り、以下、早川工というふうについていうふうに追記言葉を追記させていただいております。 |
| 1:33:53 | 火山の主な修正。 |
| 1:33:55 | 今後は以上になります。 |
| 1:34:06 | はい。規制庁の菅井です。御説明ありがとうございました。 |
| 1:34:10 | 前回のヒアリングのときにいろいろこちらからお話させていただいたところ以外についてもいろいろ見直しをされているんだと思います。 |
| 1:34:25 | ちょっと細かいですけども、念のため確認させてもらおうと、7ページのところ、 |
| 1:34:33 | ピンクの背景のハッチのところの |
| 1:34:37 | 真ん中の列申請後の検討反映事項ってあるんですけども、で降下火砕物って書いてあって、1ポツ三瓶山及び第性に関する文献調査を実施し、300キロのテフラの降灰分布に関する最新知見等を |
| 1:34:55 | 前た評価を行ったって書いてあって、ちょっと念のためこの等々も赤くなってるんですけど、これ具体的に何ですかねっていうので。すいませんちょっと念のため確認させてください。 |

| | |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1:35:10 | はい中国電力の田中です。すいませんこの頭の部分ですけれども、すいませんちょっと色彩の方が他の整合とれてませんでしたが先ほどのA3の1枚もんの資料のほうにですねえと同じような記載部位記載ぶりがございまして、実はこの等の部分には、例えば第1000生竹テフラの |
| 1:35:29 | 噴火規模に関する知見とか、こういったものも含まれておるんですが、実はこのA3の資料のほうにはそこは記載をさせていただいておりましたが、この7ページのほうには等でちょっとくっってしまったというところで記載のほうが一致しない部分がございますので、 |
| 1:35:44 | 7ページのほうにもですね正確に記載をさせていただいて3の資料と同じようにですね、正確に記載させていただきたいなというふうにとっております。以上です。 |
| 1:35:57 | 規制庁スガヤです。はい。わかりました。ありがとうございます。 |
| 1:37:52 | 議長宛ですけども。 |
| 1:37:54 | 国力とこれ、 |
| 1:37:56 | へえ。 |
| 1:37:57 | 4- |
| 1:37:59 | 3ページなんだけど。 |
| 1:38:08 | 二つ目のポツは文献調査を実施したのは申請後でいいんですよ。 |
| 1:38:15 | D、三つ目のポツの火山灰調査を実施し、 |
| 1:38:19 | というのは、これをもう申請後ですか。 |
| 1:38:30 | はい、中国電力タナカです。 |
| 1:38:34 | 申請時の段階では文献調査のみでございまして実施地質調査火山灰調査したのは申請後が新しい話です。はい。以上です。 |
| 1:38:51 | 敷地周辺敷地周辺の地質調査、 |
| 1:38:56 | を実施したのはさ確認でこれ申請ごとにですね。 |
| 1:39:03 | 中国電力の田中です。当初申請後になります。以上です。 |
| 1:39:35 | 規制庁ナイトウですけども、どういう線もそうですし、3弁もそうなんだけど、断線って言うと200。 |
| 1:39:46 | 149ページ。 |
| 1:39:49 | のところのまとめのところの表現なんだけど。 |
| 1:39:53 | 地球物理学的手法調査結果で、 |
| 1:39:59 | 仮にマグマたまりとしても、 |
| 1:40:02 | 20切る市に実施しており、東三輪19797による玄武岩質マグマの不順12km、 |
| 1:40:10 | より深い位置にあると推察され、 |

| | |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1:40:14 | ビットしてるんだけど。 |
| 1:40:18 | 玄武岩質マグマの中立点の中にも深いってこと。 |
| 1:40:26 | だから何なんですか。 |
| 1:40:35 | 中国電力の田中です。 |
| 1:40:40 | 現状深いということで 149 ページの一番下側の黄色の箱書きにございますように、 |
| 1:40:50 | いわゆるDKPのような広域火山灰を降下させる規模の噴火を起こす可能性は十分小さいと評価したということでございますが、 |
| 1:40:59 | そこまで記載をしておりますのでねやはりDKP規模の噴火が起きるか起きないかっていう観点につきましては、ダイアグラムだったり、あとはマグマ供給系に関する検討だったり、総合的な判断をした上で、 |
| 1:41:14 | そういったことがいえるというふうな整理をさせていただいております、その結論にします。いわゆるその結論につきましては 149 ページの来黄色の箱書きに書いているように総合的に評価したというふうな整理をさせていただいております。以上です。 |
| 1:41:32 | 規制庁ナイトウですけども、えっとね、玄武岩質マグマよりも深いということに何か意味があるんですか。 |
| 1:41:40 | 先行サイトでどういう表現しているか、ちゃんと見てます。 |
| 1:41:55 | もっと言うと先行サイトじゃなくて、御社表現でもカルデラのところで、 |
| 1:42:01 | 表現してるやつと、 |
| 1:42:05 | 表現合っています。 |
| 1:42:19 | 中国電力の田中です。でもおっしゃっていることはですねいわゆる巨大噴火といえますか大規模な噴火を起こす可能性があるとしてくれば、いわゆる珪長質のマグマということで、仰られてるんじゃないかなというふうに理解をしております。 |
| 1:42:36 | こちらにつきましてはいわゆる第 1000Kのいわゆる岩石ですねいわゆる火成岩につきましては玄武岩質であるということも踏まえて、今現場玄武岩質のマンパワーの浮力中立点を対象に記載をさせていただいておりますけども、 |
| 1:42:52 | これ台数につきましては関西電力さん等も評価をされておりますので、ちょっと記載のほうを再度確認させていただきたいと思います。以上です。 |
| 1:43:03 | 規制庁ナイトウですけども、ここはね、ね東みあつー1997 とかねカイダ 1997 を引っ張ってきて、 |
| 1:43:13 | 他の先行の許可してるともそうだけど、みんな爆発的噴火を引き起こす珪長質マグマの冬中立点 7kmよりも深いから、 |

| | |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1:43:23 | 珪長質マグマがマグマだまりに蓄積されているという状況が見受けられないってことを言ってるはずなんだけど、皆さんは、 |
| 1:43:34 | 皆さんもそうじゃないんですか。 |
| 1:43:50 | はい、中国電力の田中です。資料のホームページの 72 ページをお願いしたいと思うんですけども。 |
| 1:43:58 | 。 |
| 1:44:08 | はい。当社の除けの整理の仕方としてはこの 72 ページにお示しております通り三瓶山と第 1000 を構成するいわゆる火成岩につきましては、いわゆる玄武岩質へ玄武岩質といいますか |
| 1:44:24 | いわゆる安山岩質で記載とするということでございまして、そのFritz注カシ |
| 1:44:32 | いや違う破碎ええと。 |
| 1:44:36 | 浮力中立点は 7 キロ。 |
| 1:44:39 | ということでございますけども |
| 1:44:42 | いわゆる安全側の評価っていうのが正しいか評議員かわからないんですけども、玄武岩質マグマの浮力中立点の 12km よりも、 |
| 1:44:52 | 深い火災かというところで評価をすれば安全側の評価ができるという観点で整理をさせていただいておりますけれども、先行サイトさんの表現も含めて再度確認させていただきたいと思います。以上です。 |
| 1:45:26 | 規制庁ナイトウですけども。そうするとね、 |
| 1:45:31 | 玄武岩の 12km を中心に視聴するというのであれば |
| 1:45:39 | 中国電力の主張として 3 別途第一線を |
| 1:45:46 | 噴火の可能性は非常に小さいという評価をしてるんですか。 |
| 1:46:03 | いや、どこげ時玄武岩質による中立性よりも深いところにありますと言っているのを根拠にするのであれば、 |
| 1:46:13 | じゃあなんでこの規模の小さい噴火。 |
| 1:46:17 | じゃなくて一つだけ大きいやつだけは可能性が小さいっていう論拠に行き着くのか。 |
| 1:46:24 | ただ、その論理構成が今ひとつよくわからない |
| 1:46:32 | はい、中国電力の田中です。今発電所運用期間中の本格規模の考え方としては、ちょっとUSKとかDKP規模の大規模な噴火は起きないということで整理をさせていただいております。そういった観点でいきますと、 |
| 1:46:47 | ご指摘がありますように、いわゆる珪長質マグマの観点での整理のほうは池のいわゆるストーリーといいますか、一気通貫で見たときに評価としては妥当ではないかなというふうに今感じておりますので、ちょっと再度先行サイト等も |

| | |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1:47:04 | 評価も確認させていただきまして整理をさせていただきたいと思います。以上です。 |
| 1:47:17 | 排気筒の後ですけれども、どころと言うと、この評価では爆発的な規模の噴火は、 |
| 1:47:25 | 起こすようなマグマたまりは見受けられないということを主張したいというそういう理解でいいですよ。 |
| 1:47:35 | 中国電力の田中です。その通りです。以上です。 |
| 1:48:37 | 規制庁の菅井です。 |
| 1:48:38 | ちょっと別の観点からもちょっと確認させていただきます。 |
| 1:48:44 | 本編資料の 197 ページお願いします。 |
| 1:48:53 | これ敷地において考慮する降下火砕物の層圧ってということで、3 別途台線のまとのようなページになってますけれども、 |
| 1:49:03 | ちょっと確認ですが、これ表形式になっていて、上から順番に噴火規模の想定文献調査地質調査火山灰シミュレーション敷地周辺の層圧を踏まえた検討という順番にこう整理されています。 |
| 1:49:19 | 三番目に関しては、その 300 基のテフラで、その一番下の段、敷地周辺の層圧を踏まえた検討をやったのでここは埋まっているってことだと思います。一方で、第一線の方見てみると、右側 2 列 |
| 1:49:36 | 一番右側生だけですけれども、これよく読んでみると、この |
| 1:49:42 | 敷地周辺の降灰層厚踏まえた検討は実施しないって書いてあるので。ここはやっていないと、じゃあ代制マツスエはどうなんですかというふうにして見てみると、 |
| 1:49:53 | 地質調査結果による |
| 1:49:56 | 実績層圧を踏まえ、敷地における降灰層厚 30cm程度と推定したって書いてあるんですけれども、この内容がですね、二つ上の段、地質調査のところにも書いてあって、多分同じことを |
| 1:50:11 | だと思うので、大性松江テフラに関しては一番下の行。 |
| 1:50:16 | 敷地周辺の |
| 1:50:19 | 総厚を踏まえた検討っていうのはやっていないという、そういう認識でいいですか。 |
| 1:50:28 | 中国電力の田中です。ご指摘の点でございますけれども、まず第 1000 松江テフラにつきましては、耐専からですね、ほぼほぼ出雲市の方向といいますか敷地方向にの勾配はへと認められる珍しい勾配を持った |

| | |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1:50:46 | 火山場合でございまして、これにつきましては、地質調査結果、いわゆるそういった調査結果の技術的層圧をきちんと見ておけば、敷地周辺の層圧を踏まえた検討は十分なされているというふうに解釈をしております、 |
| 1:51:01 | 調査結果によってその検討がなされているという整理をしております。したがって 197 ページのD体制マツスエテフラの一番下の行のところには、地質調査結果による実績層松尾層圧を踏まえということで、 |
| 1:51:16 | 記載をさせていただいております。以上です。 |
| 1:51:22 | はい。 |
| 1:51:22 | 規制庁世界です。はい、わかりました。 |
| 1:51:25 | そうするとですね、若干こう、 |
| 1:51:28 | 敷地周辺の層圧を踏まえ、 |
| 1:51:31 | ただ検討しているのは、その一番下の段ですけども、 |
| 1:51:36 | そうすると、すみませんってということだと思うので、何かこの行に |
| 1:51:48 | すみません規制庁スガヤですけども、 |
| 1:51:50 | すみません確認ですけど、体制マツスエテフラに関しては、じゃあその敷地周辺の層圧を踏まえた検討というのは、実施していますという、そういう理解でいいですかね。 |
| 1:52:03 | 中国電力の田中です。実施しているという解釈でよろしいかと思えます。以上です。 |
| 1:53:02 | 規制庁のスガヤなんですけども続いてこれに関連して、 |
| 1:53:07 | えーとですね。 |
| 1:53:14 | 121 ページをお願いします。 |
| 1:53:18 | これ 3 弁の降下火砕物の影響評価のまとめのページになってます。 |
| 1:53:29 | ここもですね |
| 1:53:32 | 上から順番にずっと書いてあって下の上の箱書きの |
| 1:53:37 | 一番下のところは三瓶山の敷地周辺の降灰層厚を踏まえた検討結果って、 |
| 1:53:44 | 書いてあります。 |
| 1:53:47 | 一方でさっき、 |
| 1:53:53 | ダイセルのほうは、こういうまとめ方に確かなってましたっけ、ちょっと確認なんです。 |
| 1:54:04 | 中国電力の田中です。時づらだけを見てもそういう形にはなっておりません、体制のほうにつきましては、事実調査結果とシミュレーション結果というところになってるかと思います。以上です。 |
| 1:54:26 | 規制庁スガヤです。第性に関しては、173 ページでいいですか。 |
| 1:54:35 | その通りです。 |

| | |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1:54:40 | はい。規制庁スガヤです。わかりました。ちょっと続いてその 121 ページのところで確認なんですけれども、 |
| 1:54:48 | 三瓶山の敷地周辺の降灰層厚を踏まえた検討結果っていうところから実施していくわけなんですけど。 |
| 1:54:57 | 本来であれば火山灰シミュレーションで止まる場所がもうワンステップまあ皆さんやってらっしゃるわけなんですけれども、そのつなぎの部分に関してちょっと確認なんですけれども、実際読んでみると、敷地は三瓶山の風下側に位置、 |
| 1:55:13 | 風向によっては降灰が想定されるっていうのが一つと、また書いてあって、丸山とあるのが書いてありますんで、これらのことから、以上のことから書いてあるんですけどこの二つの理由から、この |
| 1:55:28 | 三瓶山の敷地周辺の降灰層厚を踏まえた検討結果を検討を実施しましたっていうことが書いてあるんですけど、 |
| 1:55:40 | 三瓶山のその風下側に位置し、 |
| 1:55:44 | 風向によっては降灰が想定されるっていうのはこれもう少しちょっと丁寧に言うと、偏西風とかそういったことを踏まえての話。 |
| 1:55:53 | なんですかね。 |
| 1:55:58 | 中国電力の田中です。おっしゃる通りでございます。平成塗布を踏まえるとですね、基本的には風は西側から東側に増えておりますので、それが多少北がもし来南側に触れた場合に、 |
| 1:56:14 | 敷地への降灰が想定されるというふうに考えております。以上です。 |
| 2:00:15 | 規制庁の菅井です。 |
| 2:00:16 | すみませんちょっと切れちゃいましたけれども失礼しました。 |
| 2:00:19 | あとですね、ちょっと参考資料のほうもちょっと見させていただきましたけど、ちょっと気づいたところだけちょっと。 |
| 2:00:26 | 言ってお伝えしておきますけれども、 |
| 2:00:32 | 6-7 の |
| 2:00:35 | 17 の辺りですかね、あの火山ガスのことが、 |
| 2:00:38 | 海底、 |
| 2:00:40 | あります。 |
| 2:00:41 | この辺 |
| 2:00:43 | パワーポイントのほうの内容と、 |
| 2:00:47 | からするとちょっと何か不足するような地形条件とかがあって、 |
| 2:00:52 | 話とかもこっちの参考資料のほうには書いてなかったんで、そこの対応をよく確認していただきたいと思います。 |

| | |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2:01:00 | あと、 |
| 2:01:02 | 同じ参考資料のほうで、 |
| 2:01:05 | うん。 |
| 2:01:11 | 6-7-2。 |
| 2:01:13 | 6-7-2 ページのところ、 |
| 2:01:16 | 原子力発電所に影響を及ぼす及ぼし得る火山っていうのを、以下検討対象火山っていうふうにして宣言をしてそのあとずっと話が進んでいきます。 |
| 2:01:29 | 一方で6-7-17とか6の |
| 2:01:33 | 17とかですかね。さっき言った火山ガスとか、そういったところにも、 |
| 2:01:38 | あと火山性地震及び関連事象のところにも検討対象火山っていう |
| 2:01:45 | 言葉が出てきます。 |
| 2:01:49 | これはずっと最初の定義がずっと生きていっているという理解なんです。でいいのか或いは |
| 2:01:56 | こういった火山ガスとか火山性地震とかいろいろ |
| 2:02:02 | 検討対象の距離があったと思いますけれどもそれとの整合とかもうちょっと踏まえて、 |
| 2:02:08 | ただ書き方にしないといけないかなと思いますのでそこはちょっと確認をしておいていただければと思います。 |
| 2:02:14 | 私からは以上になります。 |
| 2:02:46 | 中部電力の田中です。確認でございますけれども、先ほどご指摘ありましたまず系統退職火山につきましては、6-7-2 ページのほうで定義をさせていただいております、地理的領域外のいわゆる大切火山ですね。 |
| 2:03:02 | 対象とする火山ということで整理をさせていただいております。その後段につきましても個別の評価の中で先ほどありました火山生活とか、もそうなんですけれども |
| 2:03:14 | 検討対象火山に対しての評価ということでございますので、そのあたりの記載は問題ないかなというふうに感じておるんですけれども何かご不明の点等ございましたコメントいただければと思うんですけれども、いかがでしょうか。 |
| 2:03:36 | 規制庁の菅井です。音声のパワーポイントのほうでも、こういった事象に対してはこの範囲の |
| 2:03:44 | 火山を見るんだっていうのが書いてありましたよね。 |
| 2:03:47 | 少々お待ちください。 |
| 2:04:06 | 規制庁スガヤですけれども、160kmのやつを |
| 2:04:11 | 言ってるわけですね最初に定義しているわけですね。後段のほうに行くと。 |

| | |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2:04:17 | 火山ガスとかもそれ全部対象にしているんですか、火山ガスは 100 |
| 2:04:23 | 60 |
| 2:04:31 | あ、ごめんなさい、ちょっと私勘違いしてましたけれども、 |
| 2:04:35 | そう。 |
| 2:04:37 | 火山活動も 160kmまで見なくちゃいけないし、 |
| 2:04:42 | 火山性地震とそれに関する事象もすべての火山なので、そうですね、地下水の異常もすべての火山の |
| 2:04:50 | すみません。失礼しました。はい、私、 |
| 2:04:53 | ちょっと勘違いして、 |
| 2:04:55 | ちょっと別件でもう一つ、ごめんなさい。確認なんですけれども、 |
| 2:05:00 | 参考資料の |
| 2:05:02 | 07 のB-8 っていうんですね、7.2-8 ですかね、図あります。これサンビューきりのテフラの |
| 2:05:12 | の話が |
| 2:05:14 | の図ですね、あと 7-2-9 っていうのも、 |
| 2:05:18 | で、 |
| 2:05:22 | パワーポイントの 106 ページの図もですね、あったほうがいいのではないかなと思いますので、106 ページっていうのは何かっていうと、 |
| 2:05:45 | 6 ページは三瓶山と主軸の方向、 |
| 2:05:50 | と、あと、そのサイトのほうの、その位置関係とか主軸っていうのかな距離直線的なその |
| 2:05:59 | 線が書いてあったりとかするやつも重要なページなのかなと思いつつなのかなと思いますので、ちょっと検討いただければと思います。 |
| 2:06:12 | 中国電力の田中です。そうですね。106 ページの絵は、今つけておりませんが本文から読み取れるだろうという解釈で整理しておりましたが、ある図があったほうが丁寧かと思しますので、その辺を対応させていただきたいと思します。以上です。 |
| 2:09:19 | 規制庁クマガエです。 |
| 2:09:22 | 方についても御説明ありがとうございました。 |
| 2:09:25 | 次ですけれども |
| 2:09:29 | 海域とかについてなんですけども、先ほどちょっと御説明については、後にしてさせていただいておりますけども、 |
| 2:09:37 | 資料自体はですね、受け取りました内容のほうは今確認させていただいてるところで、今の段階で何か。 |
| 2:09:44 | こちらからですね確認。 |

| | |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2:09:46 | する内容の確認事項とコメントっていうのは今のところ、 |
| 2:09:49 | ありませんので、 |
| 2:09:51 | けれども何か事業者さんのほうから、 |
| 2:09:54 | 特に説明のほうはですね、根拠のところですねしていただく必要はないかなと 考えております。 |
| 2:10:06 | はい、中国電力カシマ承知いたしました。 |
| 2:10:29 | 規制庁の伊藤ですけども、海域であり、陸域なんだけど。 |
| 2:10:34 | えーとね 1 点だけ陸域のやつで補足のところにあるんだけど。 |
| 2:10:42 | 突道断層統制部。 |
| 2:10:45 | ちょっと隆起成分の連続性の規定のところなんだけど、このS35 を超えるもの がないっていうところの |
| 2:10:53 | 聞き方がもうちょっと丁寧にできませんか。 |
| 2:10:56 | そこが異なっていて、D 古い構造であって、それを跨いだ横断していくようなもの がない。 |
| 2:11:04 | ただいま担任を横断する断層は確認されてないだけ書いてあるんだけど、これ、 走向が延長する突道等、 |
| 2:11:13 | 水分断層を延長するところに交差する形であるS30 っていう、そういう前提が あるんです。 |
| 2:11:31 | 363 とか、 |
| 2:11:33 | 364 |
| 2:11:36 | よく説明 |
| 2:12:25 | 聞いてないですけど、昔のことだから覚えて、 |
| 2:12:28 | 内ございましていけばいいな。 |
| 2:12:31 | いや前に押したときに、このdt II の高まりがあってそれをそこに沿うような形で そこが違うS30 なりが伸びていっているんだけれども、 |
| 2:12:41 | そういう構造地下全体の構造を見たときに高まりを問うS30 で地質が規制され ていて、それを超えるものがないから、連動するものではないっていうふうに整 理したような気がし、 |
| 2:12:57 | 記憶があるんだけど違いましたっけ。 |
| 2:13:01 | 中国電力カシミズです。364 ページのほうを平面図で、 |
| 2:13:08 | 右下のほうの引き出しのところに書いておる。 |
| 2:13:12 | A3 の部分で 30 横断する断層認められないとこのことを今おっしゃってます。 |
| 2:13:20 | そのことを言ってます。 |
| 2:13:22 | それから、s30 がどういう断層でそれを超え、 |
| 2:13:27 | それは |

| | |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2:13:30 | お互いに延長してるやつを横断するようにある形になっていってと、これが地質を規制しているからって話だ。 |
| 2:13:38 | じゃないんです。 |
| 2:13:40 | ただ単に 30 横断する断層認められない。 |
| 2:13:45 | だから何なのって話になっちゃうから、もうちょっと詳しく書けないですか。 |
| 2:13:53 | 中国電力シミズです。表現についてはですね左側のほうのD II 層の高まりが存在しこれ横断する断層認められないというところで記載しているつもりなんですけども、ここもちょっと補強するということでしょうか。 |
| 2:14:57 | 規制庁の予定ですけども、THAIことはね。 |
| 2:15:01 | もうわかるんだけど。 |
| 2:15:03 | S30 億。 |
| 2:15:09 | に規制されたとなっているのは、s30 がどういうものだからってというのが、 |
| 2:15:15 | ナイトウs30 に規制されているって言えないんでしょうか。 |
| 2:15:26 | S3 の左、左側のオレンジの箱書きの二つ目のポツの最後 2 行のところに南側の更新世以降の活動が認められないS30 の断層に規定されていることは書いてあるけどこれと、 |
| 2:15:43 | 位置関係はちょっとまだ記載が足りないという御趣旨でしょうか。 |
| 2:15:50 | そう。何でS30 で規制されるとS30 の走向傾斜なりが関係してるんでしょう。 |
| 2:15:58 | 決算上はどういうものだからこそこれによって規制されている。 |
| 2:16:03 | 流域Bたいんであれば 130 とセーブ断層なり、 |
| 2:16:12 | がこういう関係にあって、 |
| 2:16:15 | っていうところがあるんだよね。 |
| 2:16:25 | これは中国電力の高まりSDと西武延長部の |
| 2:16:29 | dt II 層でこれまあわかるんだけど。 |
| 2:16:33 | S30 断層って、 |
| 2:16:37 | 層厚が違う。 |
| 2:16:40 | ということで、 |
| 2:16:41 | なんじゃない。 |
| 2:16:45 | S30 と中国電力シミズSs30 と赤のS2932 が斜交しとって、その先にづ 30 が負っていて、そこがブロックしているところといった表現をちょっと追加したいと思います。 |
| 2:17:03 | よろしいでしょうか。 |
| 2:17:07 | アクションがあったでしょ。はい。 |
| 2:17:09 | 一等とこれってS30 が不備断層で率を切っているということで、層厚がs20 クリス 32 棟斜交する形になっていて、 |

| | |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2:17:22 | というところで率とSという |
| 2:17:26 | フリートク構造になっているから率の高まり等えさ斜交するS30 というのが、地質構造を規制する形になってるってそういう成立なかったんです。 |
| 2:17:38 | 中国電力シミズですポツの二つ左上のポスターの箱書きの中に書いてあるポツの二つ目は、そういう趣旨で記載しておりましたので、その位置関係がもうちょっとわかるようにさせていただければと思います。以上です。 |
| 2:19:16 | 規制庁クマガエです。 |
| 2:19:20 | 今日、またいろいろと確認させていただきましたので、 |
| 2:19:25 | よろしければひとまずこれですね、今日ヒアリングのところは終了させていただきたいと思います。 |
| 2:19:31 | です。 |
| 2:19:35 | 1億燃料カシマですね、こちらから特にございません。以上です。 |
| 2:19:40 | 規制庁クマガエです。ちなみに。 |
| 2:19:43 | 残りの資料のスケジュールとしては、津浪停止とか、 |
| 2:19:48 | あと敷地の敷地内の資料については、 |
| 2:19:52 | どういう状況になってるかってちょっと教えていただきます。 |
| 2:19:58 | はい、中国電力の柏です。今週の |
| 2:20:02 | N機器のコメントをいただいている敷地内と津浪のほうも今修正をさせていただきますので、 |
| 2:20:09 | 来週できないためにですね、こちらのほうも、 |
| 2:20:13 | 訂正させていただいてヒアリングかけていただきたいというふうに考えております。以上です。 |
| 2:20:27 | 成長クマガエ付け等、 |
| 2:20:30 | もうちょっと具体的にどれぐらいの |
| 2:20:33 | もう |
| 2:20:34 | 日付とかっていうのは大体目標とかってあたりします。 |
| 2:20:43 | はい、中国電力カシマです。当時、 |
| 2:20:46 | ちょっと津波のほうですね、今週中には出しをさせていただきたいと思います まずデータを |
| 2:20:54 | 明日の金曜日ですね、視機能ありのほうは今ちょっとデータのほう拡充してございまして、こちらのほうがいいの月曜日を今日途に作業を進めているところ でございます。以上です。 |
| 2:21:09 | 規制庁クマガエです。はい、承知しました。 |
| 2:21:11 | そこら辺の資料もですね新しい内容確認してですね。 |
| 2:21:16 | ヒアリングのほうもですね。 |

| | |
|---------|----------------------------------------------------|
| 2:21:18 | いうふうに設定させていただければと思っておりますのでよろしくお願い。 |
| 2:21:23 | それでは、今日のところはこれでヒアリング終了したいと思いますけど、いかがですか。よろしいでしょうか。 |
| 2:21:30 | 中国電力カシマです。特にございません。以上です。 |
| 2:21:35 | 規制庁クマガエです。 |
| 2:21:36 | それでは、島根原子力発電所 2 号炉のヒアリングについて終了いたします。ありがとうございました。 |
| 2:21:44 | ありがとうございました。 |